☆反帝闘争を
プロレタリア日本革命へ！
☆プロレタリア世界革命の旗の下
共産主義者同盟に結集せよ！
共産主義者同盟

12月12日
週刊
第205号
編集発行人・鹿島　昇
一部　20円
購読料　20回500円（送共）

戦旗

戦旗社
東京都千代田区三崎町2—7—6 滝沢ビル内 電話代表03(264)2961 郵便振替 東京 36110
大阪支局大阪市都島区都島中通り3—7—16 電話06(921)1437
京都支局京都市左京区下鴨宮崎町128—29 (075)(781)0025
名古屋支局052(732)3553

13日　自衛隊沖縄派兵粉砕、小西元三賀支援・医療の帝国主義的再編粉砕　医学連統一行動
（午後二時、霞山公園）
14日　糟谷君追悼中央人民葬
（午後二時、日比谷野音）
15日　全関西労学総決起集会
（午後六時、中之島公会堂大ホール）
19日　全国全共闘第二回大会
（慶応大学三田校舎）

内戦的主体の構築をかちとり七〇年代の階級闘争に進撃せよ

12・12政治集会への基調報告

共産同中央政治集会に結集した全ての青年労働者、学生、市民諸君。

われわれは、今秋、諸君とともに、死力をつくして安保闘争を闘いぬいた。

われわれは、この二ヶ月にわたる激闘の中で、警官隊、諸機動隊、機動隊、うしろだてのみならず、機動隊は、この二ヶ月、四千名をこえるわれわれの同志、兄弟たちを逮捕し、現行、東大闘争の戦士をはじめ、千名をオーバーする兄弟たちを獄中につなぎ、負傷者、病者、数名の死者を出した。

われわれは、今秋、諸君とともに、死力をつくして安保闘争を闘いぬいた。

われわれは、この二ヶ月にわたる激闘の中で、警官隊、諸機動隊、うしろだてのみならず、機動隊は、この二ヶ月、四千名をこえるわれわれの同志、兄弟たちを逮捕し、現行、東大闘争の戦士をはじめ、千名をオーバーする兄弟たちを獄中につなぎ、負傷者、病者、数名の死者を出した。

だが、わが赤ヘル軍団は、羽田闘争からの羽田空港への進撃をかちとり、出撃された佐藤に、わずか十数分の勝利を与えることが出来なかったとはいえ、ヘリコプターで羽田に到着し、日本「脱出」に成功した。

たしかに、佐藤のかかる日本「脱出」は、日本帝国主義の威信をいたく傷つけこそすれ、威信を向上させるものではなかった。

16・17日の東京防衛は、佐藤訪米が人民からかなる支持も与えられていないことを、それが強大な警察力によってのみ可能であったにしかすぎないということを鮮やかに示した。

しかし、佐藤は訪米し、われわれは、訪米阻止をかちとれなかった。

われわれは、今秋佐藤訪米阻止闘争に、次の二つの目的を積極的に与え、主体的に追求してきた。

第一に、われわれは、佐藤訪米実力阻止をかちとり、これをもって一挙に安保粉砕の展望を中に収めること、安保決戦を主体的に追求した。

第二に、われわれは、今秋闘争を、単に安保闘争における安保決戦として、一国規模的にとらえるのではなく、ベトナム革命戦争に呼応して全世界に拡大した反帝反帝闘争のけん引、なんぴとく、帝国主義闘争級闘争革命戦争と闘争の闘争へ発展させるための突破口を切り拓くことを主体的に追求した。

われわれが、今秋闘争に与えようとしたその目的は、われわれが、今秋闘争に与えようとしたその目的は、結局、共産同中央政治集会に結集した諸君、学生、市民諸君。

われわれは、今秋、諸君とともに、死力をつくして安保闘争を闘いぬいた。

われわれは、この二ヶ月にわたる激闘の中で、警官隊、諸機動隊、うしろだてのみならず、機動隊は、この二ヶ月、四千名をこえるわれわれの同志、兄弟たちを逮捕し、現行、東大闘争の戦士をはじめ、千名をオーバーする兄弟たちを獄中につなぎ、負傷者、病者、数名の死者を出した。

だが、わが赤ヘル軍団は、羽田闘争からの羽田空港への進撃をかちとり、出撃された佐藤に、わずか十数分の勝利を与えることが出来なかったとはいえ、ヘリコプターで羽田に到着し、日本「脱出」に成功した。

たしかに、佐藤のかかる日本「脱出」は、日本帝国主義の威信をいたく傷つけこそすれ、威信を向上させるものではなかった。

16・17日の東京防衛は、佐藤訪米が人民からかなる支持も与えられていないことを、それが強大な警察力によってのみ可能であったにしかすぎないということを鮮やかに示した。

しかし、佐藤は訪米し、われわれは、訪米阻止をかちとれなかった。

われわれは、今秋佐藤訪米阻止闘争に、次の二つの目的を積極的に与え、主体的に追求してきた。

第一に、われわれは、佐藤訪米実力阻止をかちとり、これをもって一挙に安保粉砕の展望を中に収めること、安保決戦を主体的に追求した。

第二に、われわれは、今秋闘争を、単に安保闘争における安保決戦として、一国規模的にとらえるのではなく、ベトナム革命戦争に呼応して全世界に拡大した反帝反帝闘争のけん引、なんぴとく、帝国主義闘争級闘争革命戦争と闘争の闘争へ発展させるための突破口を切り拓くことを主体的に追求した。

弾薬輸送に恒常的武装闘争

関西各地でも闘い取り組まる

【大阪支局】関西各地において、弾薬輸送列車に対する闘争は、英雄的人民の武装闘争を頂点に、各地に鍵型宣伝煽動における分アルジョアの反撃列が一時的、部分的ものでしかないことを証明した。"温存派"は決しておとろえてはいない。いや日本帝国主義の手人公としてその底辺をますます不動のものにしつつある。自民・公党・民・社・三〇〇トンもの火薬を入宝塚集積地をねって運べという権力の「温存派」に対する闘争は、抗議の言をあげえた。死にたえたかの「過激派」の闘いであったことを、我々はしっかりと肝にめいじておかねばならない。

11・26　関西各地区集会、金共闘、べ平連を中心とした五百の戦闘的デモが大阪駅へむかって展開された。（概報）

11・28　宝塚駅において、戦闘的労働者、学生が、官憲の弾圧をものともせず、戦闘的デモを展開した。

12・1　吹田・岸和田・泉佐野・和歌山・新宮集会、金共闘、べ平連は、関西の輸送拠点である吹田操車場に対し、戦闘的デモを展開。

12・5　英雄的宣年数名が、東海道線新宮駅周辺の陸橋から、列車に対する抗議の矢をつぎつぎ、以後の闘争の方向性を示した。

12・6　同じく輸闘的人民は山陽本線の兵庫附近において、線路の破壊をめざして闘争を展開した。

12・6　関西大阪地区戦闘的デモ展開した。〈東部〉向日町会館において、東部各地区集会、べ平連、金共闘200名は全国総会を開催し、以後、列車ダッシュかかる向日町駅へ戦闘的デモを展開した。

12・7　八尾崎〉尼崎区集会、尼崎駅に対する抗議の戦闘的デモを展開した。

〈吹田〉関西地区反戦連絡会議によりかけて、百名の戦闘は労働者、学生が関中を吹田操車場に対する戦闘的デモを展開した。

山田・興雄部からの弾薬輸送は日米共同声明の粉砕に結集した帝国主義の局面的解剖を人民に対し宣言するというテンストレーションであるだけではなく、朝鮮・台湾を中心とする日帝国主義の新たな戦争計画のための軍事網は、72年沖縄返還をめざしにいよいよ中化し、日本軍の戦闘基地大幅に強化し、かつ南北に主権を設立するという戦略的な侵略的再編の先がけ、即ち、今回の弾薬輸送は、日帝の再編という実質をもっていた。

即ち、米帝は軍事侵略の中枢に携帯し、日本帝国主義の侵略的再編を強行し、人民に対し、戦闘的デモを展開した。

全関西労学総決起集会

■日時　十二月十五日　午後六時

■場所　中之島公会堂大ホール

■講演　「安保沖縄と内戦の七〇年代」　永井武夫

■戦線報告　中電スト実他

主催　共産主義者同盟

はじめに

今秋安保決戦は、「決戦」と位置づけた闘いとして明らかに敗北であった。権力は、十・二一前後の首都東京を頂点とする戦略状態の中では圧倒的弾圧に成功したのであり、われわれは革命的敗北の段階に突入したのである。

現象的にこうした情勢をもって進行した過程の中にわれわれは明らかに一つの時代が始まりつつあり、新しい時代が始まりつつあるのを見る。敗北宣言情勢眼で見れば四・二八以降の闘争が一段落ついていれば、見るを今秋、闘争ではむしろ後退しているかに見える闘争であって、第四次全国大会で再定した路線を実践し、実践を通じて、この闘争の中で切り拓かれた武装闘争が、階級闘争の前面に登場し、その武装闘争を頂点とする実力闘争の種野が広範に形成されていないまったく新しい状況がそれである。

現象的にこうした情勢をもって進行した過程の中にわれわれは明らかに一つの時代が始まりつつあり、新しい時代が始まりつつあるのを見る。敗北宣言情勢眼で見れば四・二八以降の闘争が一段落ついていれば、見るを今秋、闘争ではむしろ後退しているかに見える闘争であって、第四次全国大会で再定した路線を実践し、実践を通じて、この闘争の中で切り拓かれた武装闘争が、階級闘争の前面に登場し、その武装闘争を頂点とする実力闘争の種野が広範に形成されていないまったく新しい状況がそれである。

しかし同時に、この激動の二カ月が日本階級闘争に巨大な一歩をしるしたことは事実である。学園